

(別紙5)

整理番号 2020P-152
補助事業名 2020年度 ひきこもり・不登校に対する支援活動 補助事業
補助事業者名 公益社団法人青少年健康センター

1 補助事業の概要

(1) 事業の目的

「ひきこもり等生きづらさを抱えた方々やそのご家族が、いきいきと社会参加、生活できると社会」を目指すため電話相談・相談/居場所支援・普及啓発活動等を実施しています。

(2) 実施内容

①<対話を重視した技法「オープンダイアログ」形式を用いたひきこもりダイアログ講座の開催> (<https://h-seminar.skc-net.or.jp>)

フィンランドのケロプダス病院にて1980年代から開発と実践が続けられてきた治療技法「オープンダイアログ」を用いた講座を開催しています。精神科医の斎藤環氏をはじめ、2~3名の運営補助がグループワークのファシリテーターの役割を担い、「理論編」としての座学ならびに参加型の「ワーク」を行います。対話を中心としたグループワークを通じ、参加者の家族関係を見つめ直す機会となるよう実施しています。



会場での講座の様子①



YouTube動画配信の様子②



Zoom開催の様子③

(別紙5)

② <親世代の亡き後に備えるライフプラン講座と個別相談会>

<https://l.seminar.skc-net.or.jp>

“8050問題”等、近年ひきこもり家庭での親の高齢化の課題も可視化されるようになってきました。ひきこもりが長期化し、中高年に達した当事者、特にその家族を主な対象として、ファイナンシャルプランナーによる生活・経済面にフォーカスした講座および個別相談会を開催しました。知識を学ぶ講座だけでなく、受講者を優先とした個別相談会も設けることで、各家庭の状況に沿ったより実践的なアドバイスが可能となります。



講座動画配信の様子



個別相談会の様子

2 予想される事業実施効果

① <対話を重視した技法「オープンダイアログ」形式を用いた、ひきこもりダイアログ講座開催>

本事業を通じ、受講者の家庭内のコミュニケーションが改善されることで、希薄であったり歪であった家庭内のつながりの回復が期待されます。その後は社会とのつながりを取り戻す段階への進展が期待され、支援機関や就労につながるといった、それまでの状態からの改善が見込まれます。オープンダイアログの手法を身につけたひきこもり家族の増加が、ひきこもり問題解決に寄与することを期待しています。

② <親世代の亡き後に備えるライフプラン講座と個別相談会>

本事業では、受けられる社会保障や生活維持に必要な具体的な金額がファイナンシャルプランナーによって示されることで、生きていくためにどうすべきかという現実的な課題に向き合う機会を提供できると考えております。また個別相談会において、各家庭に合った実践的かつ具体的アドバイスの結果、ひきこもり当事者に安心と安全が確保されることは、就労や自立への大きな動機付けへとつながると考えます。

(別紙5)

3 補助事業に係わる成果物

(1) 補助事業により作成したもの

ひきこもりダイアログ講座 受講案内 1,800部

2020.6

『ひきこもりダイアログ講座』

公益社団法人 青少年健康センター

＜講師の言葉＞

講師：斎藤 暁先生(筑波大学教授・医学博士・青少年健康センター理事・精神科医師)

この家族会(実践的ひきこもり講座)を開始してから、もう20年になります。これまで続けてこられたのも、皆さまのおかげであつたことと深く感謝しております。ただ、ここ数年ほど、私の中で「この講座の思いのたけがどうか」という懸念がたまに生まれてきました。

家族会は当初から、理論の講義と、Q&Aという形式で続けてきました。しかし「この講座ではどう対応すべきか」というやりとりが、果たして本当にご家庭で役に立っているのか、もちろんまったくの無意味とは思いませんが、当事者との関わりで一番大切な「対話」のあり方がどうしてもうまく伝えられていないという印象が強くありませんでした。

で存じのうちに、私は近年、フィンランド発祥の「オープンダイアログ」というケアの手法(でありシステム、思想)の普及普及に取り組みしています。手法としての対話は、ひきこもりの改善においても大いに有効です。ご家族の皆さんに対話のワークを経験していただくことは、単に小手先の対応や知識を伝達する以上の効果を持つのではないかと、そのような考えから、2018年4月以降の家族会は、主として午後の時間を対話実践のワークに当てておくことを考えております。

良い対話には、当事者を安心させるのみならず、ご家族自身に変化を起こしていく力があります。当初はとまどう方もおられるかもしれませんが、どうかひきこつて、ご協力をお願いいたします。

参加費 *午前・午後それぞれ 1日 3,000円/1名
*午前・午後通して参加される場合 1日 5,000円/1名
*当センターの維持会員、SV会員は半額になります。

会場 その時々で変わりますのでご注意ください。(※詳細はホームページをご覧ください。)

教材 斎藤 暁著/『社会的ひきこもり』PHP研究所(定価6,000円+税)
『ひきこもり』退出マニュアル(理論編)(実践編)ちくま文庫
*できれば事前にお読みください。当センターでも取り扱っています。

申し込み・問い合わせ ホームページよりお申し込みください。電話でも受け付けています。

公益社団法人 青少年健康センター

〒112-0006 文京区小日町4-5-8 三軒町ビル102
TEL: 03-3947-7636・0760 FAX: 03-3947-0766
<http://skc-net.or.jp>

講座スケジュール (※詳細はホームページ、またはお電話ください)

講座日	時	講 義
第252回		動画公開(※受け付中)
第253回	6月13日(土)	午後:動画申込 13:00~14:30
第254回	7月11日(土)	午前:家族会(理論+Q&A) 10:00~12:00 午後:家族会(対話ワーク) 13:00~15:00
第255回	8月30日(日)	午前:Zoom予定(詳細はPをご確認ください) 10:00~12:00 午後:Zoom予定(詳細はPをご確認ください) 13:00~15:00
第256回	10月17日(土)	午前:家族会(理論+Q&A) 10:00~12:00 午後:家族会(対話ワーク) 13:00~15:00
第257回	11月7日(土)	午前:家族会(理論+Q&A) 10:00~12:00 午後:家族会(対話ワーク) 13:00~15:00
第258回	12月19日(土)	午前:家族会(理論+Q&A) 10:00~12:00 午後:家族会(対話ワーク) 13:00~15:00
第259回	2021年 1月16日(土)	午前:家族会(理論+Q&A) 10:00~12:00 午後:家族会(対話ワーク) 13:00~15:00
第260回	2月13日(土)	午前:家族会(理論+Q&A) 10:00~12:00 午後:家族会(対話ワーク) 13:00~15:00
第261回	3月13日(土)	午前:家族会(理論+Q&A) 10:00~12:00 午後:家族会(対話ワーク) 13:00~15:00

この事業は、競輪の補助を受けています。
<https://jka-cycle.jp>

親世代の亡き後に備えるライフプラン講座と個別相談会 申込みチラシ 1,000部

山中 雅子先生
ファイナンシャルプランナー

ひきこもりのお子さんをほぐし、助けたい親子さんを抱えるご家族から、生活防衛の情報を受け始めて28年が過ぎようとしています。ご相談を受ける中で、問題が深刻化しているのは、お子さん自身の高齢化です。ご相談の中には、お子さんがお父さんになった方もあり、問題が深刻化しなくなったり、重い介護状態になるケースも出てきています。「親ごき」の生活設計を立てる重要性は高まるばかりです。

そこで講演会では、助けたい親子さんに対して、寄り添ってあげられること、親自勝のためにすべきこと、お子さんご自身に対してしておきたいことなど、サバイバルプランに必要な知識をお話しします。

動画配信 YouTube

日時 2020年9月5日(土) 13:00~
期間 約2週間(9月19日(土))まで
参加費 当センター会員は無料、会員以外2,000円
※お振込後、視聴希望者へ資料を送付いたします。

個別相談会 ※動画視聴者が優先となります。

日時 2020年 9月19日(土) / 10月7日(水)、16日(金)
11月5日(木)、21日(土) / 12月12日(土)
2021年 1月12日(火) / 2月20日(土)

講師 山中 雅子先生 (ファイナンシャルプランナー)

定員 1日各4名

会場 青少年健康センター 三軒町ビル(茗荷谷駅)

参加費 当センター会員1,000円、会員以外5,000円

青少年の健全育成事業として、今回『ひきこもり家族のライフプラン』の講座と個別相談会に助成金を頂きましたので、ひきこもりが長期化し高齢化して、親世代の亡き後働けない子供をどう盛り立たせるのかを、専門家とご一緒に実践的な方法を考えていきたいと思います。

この事業は、競輪の補助を受けています。
<https://jka-cycle.jp>

公益社団法人 青少年健康センター

ひきこもり家族の
ライフプラン
動画配信と個別相談会

(別紙5)

(2)(1) 以外で当事業において作成したもの

- ・当法人機関紙「ニュースレター」No. 58 (現在作成中・2021年夏期1000部発行予定)
- ・Facebookにて開催報告

<https://ja-jp.facebook.com/YSCPIIS/>

4 事業内容についての問い合わせ先

団 体 名 : 公益社団法人青少年健康センター

(コウエキシャダンホウジンセイショウネンケンコウセンター)

住 所 : 〒112-0006

東京都文京区小日向4-5-8 三軒町ビル

代 表 者 : 代表理事 齋藤友紀雄 (ダイヒョウリジ サイトウユキオ)

担当部署 : 事務局 (ジムキョク)

担当者名 : 事務局長補佐 鈴木隆之 (ジムキョクチョウホサ スズキタカユキ)

電話番号 : 03-3947-7636

F A X : 03-3947-0766

E-mail : info@skc-net.or.jp

U R L : <http://skc-net.or.jp/>